

令和 7 (2025)年 9 月 記者会見



MIYOSHI CITY
みよし市





MIYOSHI CITY
みよし市

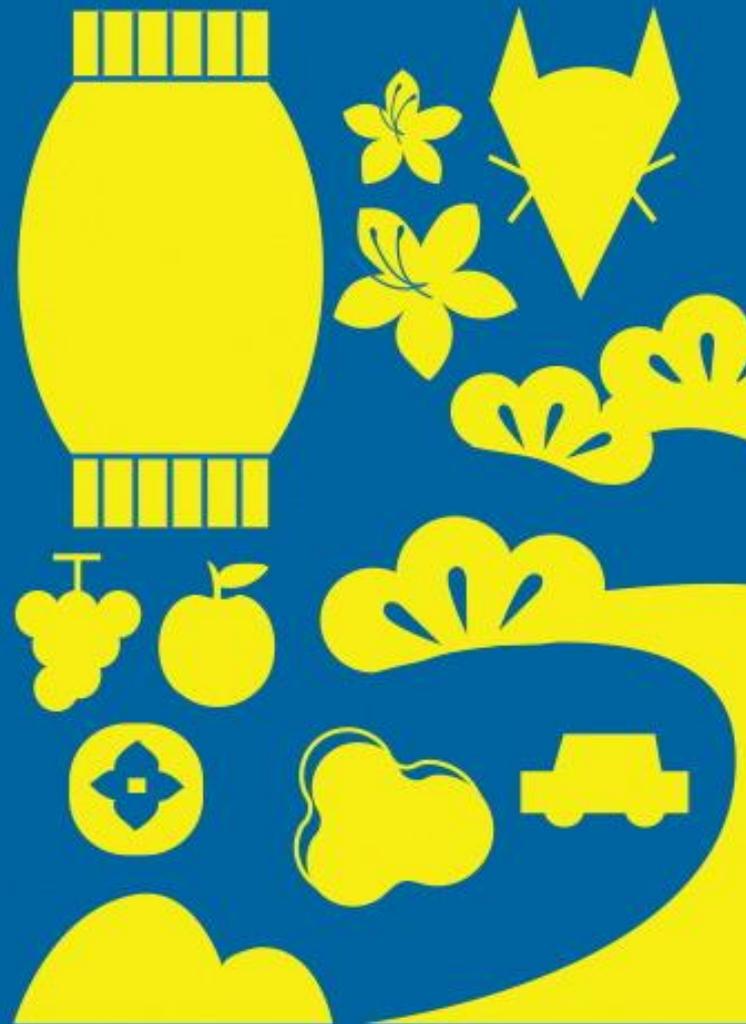
令和7年度みよし市 補正予算【案】

一般会計（第3号）

国民健康保険特別会計（第1号）

介護保険特別会計（第1号）

令和7(2025)年9月
記者会見



デジタル化推進

ゼロカーボンシティ推進

SDGs 推進

一般会計 歳入歳出補正予算

15億1,086万4千円

(単位：千円)

項目	既決予算額 A	補正予算額 B	合計 A+B	(参考) 当初予算額
一般会計	30,092,074	1,510,864	31,602,938	29,924,000
特別会計	8,206,172	195,170	8,401,342	8,206,172
国民健康保険特別会計	4,299,699	88,200	4,387,899	4,299,699
介護保険特別会計	2,906,058	106,970	3,013,028	2,906,058
後期高齢者医療特別会計	1,000,415	—	1,000,415	1,000,415
合計	38,298,246	1,706,034	40,004,280	38,130,172



教員による盗撮等事案の発生に伴い、プロジェクトチームを設置します

補正額 **28万3千円**

令和7(2025)年7月に市内中学校で発生した盗撮等事案について、事実関係の確認、被害者の保護及び再発防止策の検討をするため、第三者によるプロジェクトチームを設置します。

【プロジェクトチーム概要】

「構成」 弁護士 2人、大学教授 1人

「会議」 令和7(2025)年9月から11月まで計14回

「所管内容」

盗撮等事案の事実関係の確認、被害者の保護及び支援策の確認、学校の管理体制・校内環境の確認、再発防止策の確認等



学校施設内に防犯カメラを設置します

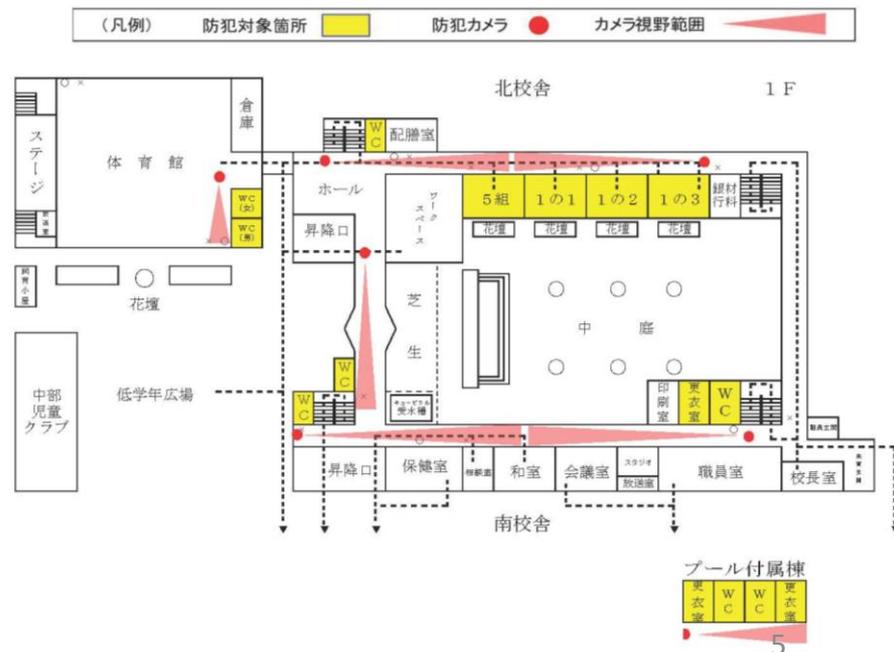
補正額 **5,771万9千円** (小中学校防犯カメラ設置工事費)

児童生徒が安心して学校生活を送れる環境を整備するため、市内小中学校全12校において、**更衣室・普通教室・トイレの出入口を撮影する防犯カメラを設置**します。これにより、学校施設内での犯罪抑止を図り、安全対策を強化します。

【工事予定内容】

各学校の廊下にカメラを設置し、校長室にカメラで撮影した映像の録画装置を設置

【カメラ設置例】(中部小学校1階)



【スケジュール】

	令和7(2025)年度						令和8(2026)年度
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月~
工事発注	●						
工期		●	—————→				
使用開始							● ———→

利用申込者の増加に伴い、放課後児童クラブの教室を新たに開設します

補正額 **379万円** (教室開設準備費)

子育てしながら安心して働ける環境を整備するために、利用申込者の多い**天王児童クラブ・黒笹児童クラブに第三教室を開設**することで、待機児童の解消を図ります。

【教室開設の概要】

天王児童クラブ・黒笹児童クラブにそれぞれ1教室ずつ増設します。

R7 市内8小学校区 16教室  R8 市内8小学校区 **18教室**
拡大



【スケジュール】

	令和7(2025)年度						令和8(2026)年度
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月~
契約締結	●						
開設準備・説明会・打合せ		●	—————→				
教室利用							●—————→



物価の上昇に伴い、保育園・幼稚園児等の給食に係る費用を増額します

主食費及び副食費を増額するとともに、無償化事業支援金を増額します。

補正額 **393万1千円** (総額)

【保育園運営事業】 267万1千円

物価上昇に対応した材料費・委託料や無償化事業支援金の増額

	R7 (当初)	R7 (10月～)	差
園児給食費 (1日あたり)	270円	285円	+ 15円
職員給食費 (1日あたり)	320円	340円	+ 20円
支援金 (1月あたりの上限)	5,400円	5,700円	+ 300円

【幼稚園支援事業】 126万円

物価上昇に対応した無償化事業支援金の増額

	R7 (当初)	R7 (10月～)	差
支援金 (1月あたりの上限)	5,400円	5,700円	+ 300円



給食費の対象

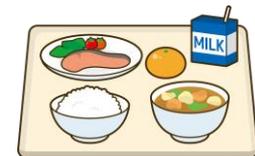
園児：750人

職員：160人

支援金の対象

市内保育所：430人

市内・市外こども園：195人



支援金の対象

市内在住園児：700人

物価の上昇に伴い、小・中学校の児童・生徒等の給食に係る費用を増額します

無償化事業支援金と、給食の調理等委託費を増額します。

補正額 **2,239万8千円** (総額)

【教育支援事業】 884万4千円

物価上昇に対応した支援金の増額と、連続30日以上欠席者の人数増による増額

	R7 (当初)	R7 (10月～)	差
小学校の支援金 (1食あたり)	320円	340円	+ 20円
中学校の支援金 (1食あたり)	365円	390円	+ 25円
連続30日以上欠席者の人数 (小学校)	20人	45人	+ 25人
連続30日以上欠席者の人数 (中学校)	32人	121人	+ 89人



【給食調理等委託事業】 1,355万4千円

物価上昇に対応した委託料の増額

	R7 (当初)	R7 (10月～)	差
小学校の委託料 (1食あたり)	320円	340円	+ 20円
中学校の委託料 (1食あたり)	365円	390円	+ 25円

対象 (小学校)
児童：3,619人
教職員等：374人

対象 (中学校)
生徒：1,758人
教職員：175人

物価高騰の影響を受ける幼稚園・こども園を支援します

補正額 **120万円** (物価高騰対策支援金)

物価高騰による支出の増加の影響を受ける市内にある幼稚園・こども園に対して、**物価高騰対策支援金**を給付し、質の高い幼稚園教育を継続して提供できるよう支援します。

【支援金の概要】

対象	対象園数	支給額
幼稚園 こども園	6園	1園あたり20万円

【市内幼稚園・こども園】

- ・三好桃山幼稚園
- ・三好文化こども園
- ・東山幼稚園
- ・ベル三好幼稚園
- ・三好丘聖マーガレット幼稚園
- ・まこと第二幼稚園



エネルギー価格高騰の影響を受けている私立幼稚園・こども園を支援します

補正額 **204万円** (スクールバス支援金)

エネルギー価格高騰の影響を受けている私立幼稚園・こども園へ、スクールバス運行経費に対して**スクールバス支援金**を支給し、幼稚園の安定的な運営を支援します。

【支援金の概要】

支援金 バス1台当たり12万円 (年額)

支給対象 市内の私立幼稚園・こども園が所有するスクールバス (16台)

対象園	バスの保有台数
三好桃山幼稚園	5台
三好文化こども園	3台
東山幼稚園	2台
ベル三好幼稚園	2台
三好丘聖マーガレット幼稚園	2台
まこと第二幼稚園	2台



農業経営収入保険に加入する際に支払う、保険料の一部を助成します

補正額 **235万円** (農業経営収入保険加入促進事業補助金)

市場価格の下落、自然災害など農業者の経営努力だけでは避けられない農業収入の減少に対し、農業共済組合が取り扱う農業経営収入保険への加入を促進することで、市内農業者の経営安定を図ります。

【農業経営収入保険の補償内容の例】

【出典：農林水産省ホームページ】



【概要】

補助対象者	市内在住の農業者、市内に事業所を有する法人
補助対象経費	保険料及び事務費
補助率	補助対象経費の1/2
限度額	新規加入 10万円、継続加入 5万円 (継続加入者が、補助金の交付を受けられるのは1回のみ)

➤ 道路維持管理事業

(区画線設置工事、遊歩道修繕工事等) 補正額 3,480万円

道路利用者の安全を確保するための区画線修復や、遊歩道の樹木の根による段差の危険を解消するため、タイル撤去、アスファルト及びインターロッキング舗装工などを実施します。



➤ 道路改良事業

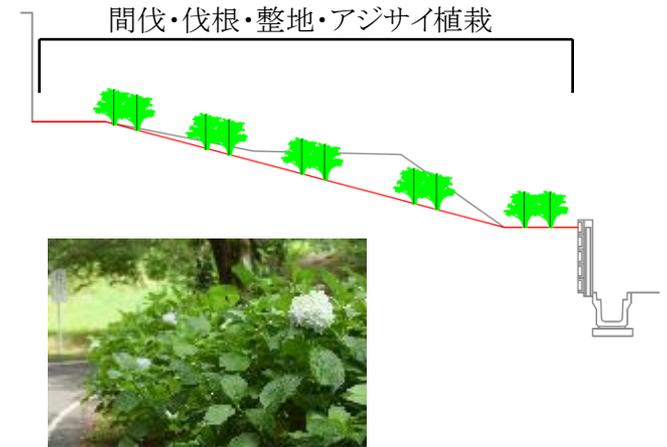
(道路改良工事) 補正額 3,000万円

大雨時における市道朝日ヶ丘線の道路冠水に伴う通行止めを解消するため、道路勾配の見直しを行い、自然勾配で排水ができるように側溝を新設します。



➤ 都市公園整備事業
 (三好公園整備工事その2) 補正額 2,200万円

三好公園南エリアにおいて、景観を向上させるため、法面整形工及び植栽工等を実施します。



➤ 公園維持管理事業
 (勤労体育センター動力配線工事)

補正額 1,397万円

三好公園内勤労体育センターの動力配線を、陸上競技場内のキュービクルからの配線となるよう切り替え工事を実施します。



安全な利用のため、修繕工事を実施します

補正額 **1,579万1千円** (受変電設備取替工事等)

経年劣化による故障や安全性を欠いた設備の修繕を行うことにより、施設を安心してご利用いただける環境を整えます。

【主な修繕工事予定】

《受変電設備取替工事》

耐用年数経過箇所である断路器、計器用変圧器、計器用変流器、避雷器、高圧気中開閉器及び地絡方向継電器の取替

《防犯カメラ設置修繕工事》

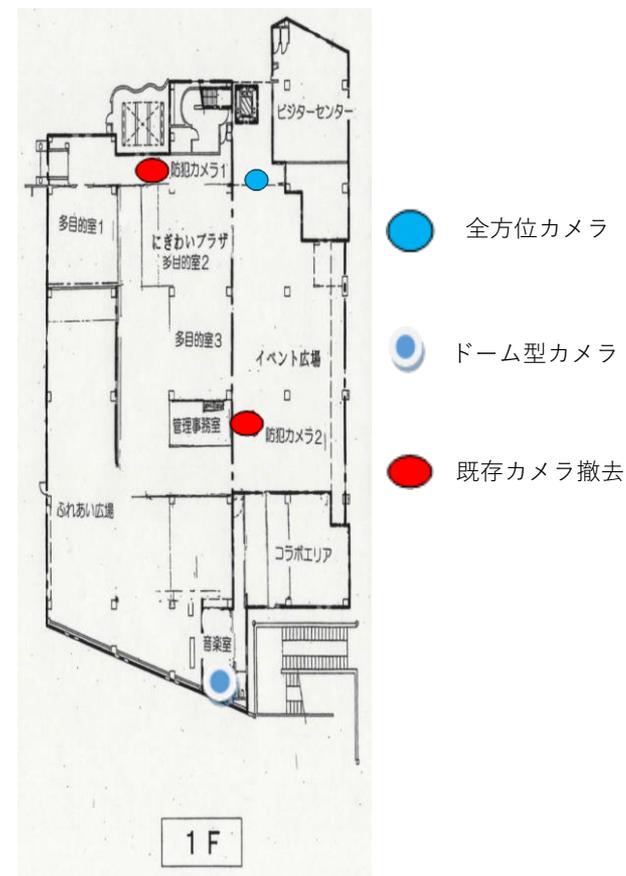
カリヨンハウス1階イベント広場と音楽室に防犯カメラを設置

《緊急修繕》

漏水修繕や空調機修繕など



【防犯カメラ設置・撤去図】



その他 イベントなどのお知らせ



みよし市
MIYOSHI CITY





質の高い企業立地を促進し、地域雇用の安定化と税収基盤の確保を図るため、奨励措置を拡充します。

拡充内容

工場等立地特別奨励金の新設

県内トップクラス

【奨励対象】

- ・ 製造・加工・修理業、情報処理・提供業、開発研究業、20年以上市内に立地している流通業
- ・ 市の土地利用計画に則したエリアでの工場等の新增設
- ・ 家屋、償却資産の取得額で15億円以上であること

【奨励金額】

- ・ 土地、家屋、償却資産の固定資産税評価額の10%（市外から本社機能に移転する場合は12%）
- ・ 上限6億円

雇用促進奨励金の新設

工場等の新增設に伴う上乗せ奨励金

【奨励対象】

- ・ 市民を従業員として新規に雇用した場合、または従業員を市外から転勤・転入させた場合

【奨励金額】

- ・ 1人につき30万円
- ・ 上限1,000万円

子育て部分休暇を多様化し、対象者を拡大します

子育て部分休暇の取得形態を多様化し、対象者に会計年度任用職員を加えます。
会計年度任用職員を対象としている自治体は、県内でもごくわずかです。



【子育て部分休暇の概要】

- 「地方公務員の育児休業等に関する法律」による部分休業の対象年齢は小学校就学前までの子
➔市独自に子育て部分休暇として小学3年生までの子に拡大（令和7(2025)年4月1日開始）

【対象者の追加】

現行
・常勤職員



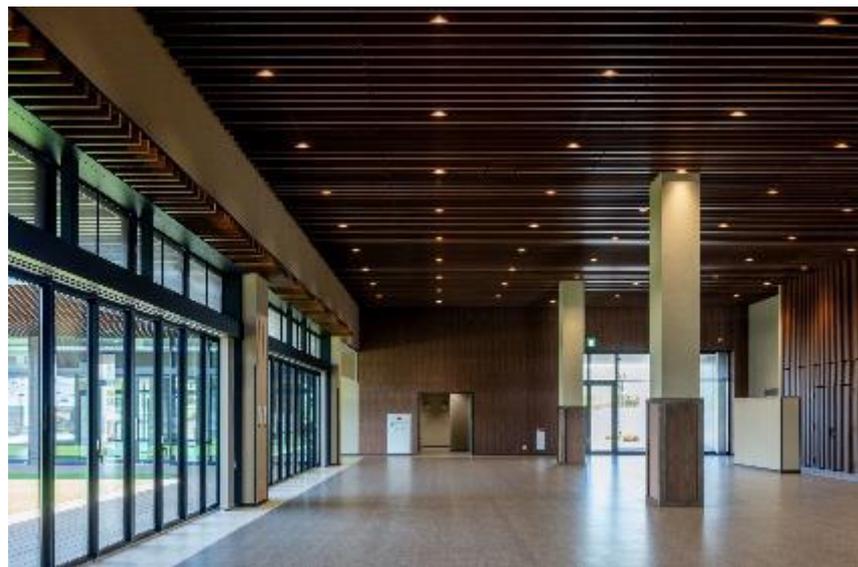
改正後
・常勤職員 ・ 会計年度任用職員

【取得形態の多様化】

現行
・1日につき2時間の範囲内（始業時・終業時に限る。）



改正後
・①②のいずれかを選択して取得可能 ①1日につき2時間の範囲内（始業時・終業時の要件を撤廃） ②1年につき77時間30分（会計年度任用職員は1年につき10日相当の勤務時間）の範囲内



みなよし交流センターの概要

○所在地 みよし市明知町下細口1番地8
(明越会館 跡地)

○開館時間 火～土曜日 午前9時から午後9時まで
日曜日 午前9時から午後5時まで
※休館：月曜日(祝日の場合は翌平日)

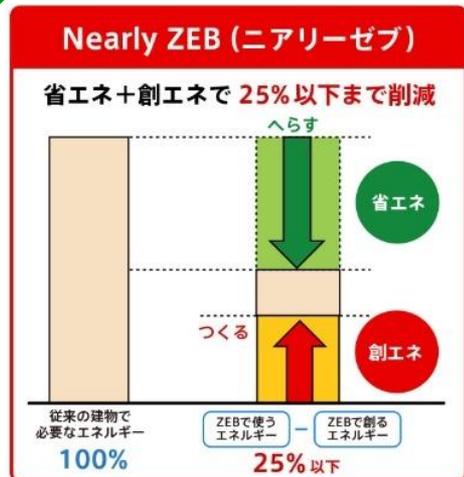
みなよし交流センターが
10月1日(水)に開館します！

○主な貸館施設
多目的ホール、調理室、
会議室・講座室、軽運動室



建物のZEB化

全国初



施設の断熱・効率化による「省エネ」と太陽光発電設備による「創エネ」を組み合わせることで、本格的なスポーツを行うことができる大空間を備えた公共施設(集会施設)では全国初となる「Nearly ZEB」承認(基準一次エネルギー消費量75%以上の削減)を取得しました。災害時に自立的なエネルギー供給が可能です。



地域産木材の活用

友好都市である長野県木曾町産の木材を使用した家具をはじめ、市内中学生による絵付け等の加工を施した木製パネルを交流エリアへ設置し、各部屋の銘板には本工事により伐採したクスノキを使用しました。また、多目的ホールの床材をはじめ、下駄箱、学習コーナーの机の素材に豊田市産木材を使用するなど、地域産木材を積極的に取り入れています。



幅広い用途にお使いいただけます！



① 本格的な球技ができる多目的ホール

バスケットボールコートが2面確保できるスペースがあります。電動の折り畳み式ステージも整備していますので、スポーツに限らず様々な用途に使用いただけます。



② 屋内外の一体的な利用が可能

交流エリア(屋内)と屋外イベントエリアが行き来できる構造です。庇も広く設けていますので、屋外イベントにも活用いただけます。



開館に関するイベント

2025年10月1日(水) OPEN
みなよし交流センター
内覧会を開催します



2025年
生き残る知識と生き抜く技を身につける!

CHUNICHI SURVIVAL CAMP

2DAYS

2025年
10月18日(土)~19日(日)【1泊2日】

雨天決行

参加無料

防災レクチャー・避難生活体験プログラム
みよし市(みなよし交流センター・南部地区コミュニティ広場)
小学1年生~中学3年生とその保護者
親子約30組100名まで
2025年9月30日(火)
※保護者多数の参加が、結果に結びつきます。
※必ず9月30日(火)まで保護者参加申し込みが必要です。

参加申し込みはこちら

主催 / 中田新所社 共催 / みよし市
後援 / 愛知県、愛知県教育委員会、みよし市教育委員会

①内覧会

日時 9月21日(日) 午前9時から正午まで
※事前申し込み不要

②開館記念式典

日時 10月1日(水) 午前10時から午前11時50分まで
内容 テープカット、南中学校生徒制作の木曾町産木製パネルの設置、南部小学校児童及び南中学校2年生による合唱発表

③開館記念イベント

「備える！中日サバイバルキャンプ」

日時 10月18日(土)・19日(日) 1泊2日で開催
※参加申し込み受付中(9月30日(火)締め切り)
内容 小中学生とその保護者を対象とした段ボールシェルターでの野外宿泊体験やサバイバルクッキングなど



電話リレーサービス「手話リンク」の導入



手話リンクとは...

(一財)日本財団電話リレーサービスが提供する公共インフラである電話リレーサービスを使用して、ホームページから直接問合せできる仕組みです。
ろう者が窓口に出向かなくても、市ホームページのトップページにあるボタンで、みよし市役所の福祉課につながります。

県内自治体では初の導入となります。



通常の電話窓口で手話にも対応できる



((一財)日本財団電話リレーサービスホームページより)

便利なサービス

- 手続きナビ
- オンライン申請
- 窓口混雑状況
- 申請書ダウンロード
- 公共施設予約
- くらしの便利帳
- 子育て応援アプリ
- ごみ分別促進アプリ
- 道路損傷等通報アプリ
- 手話で電話をする**

▲市ホームページトップ画面



- 株式会社三五が、令和7(2025)年9月1日にみよし市福田町に本社を移転しました。

株式会社三五の魅力

株式会社三五は、自動車用のマフラー製造において国内トップクラスであり、**世界では第4位のシェアを誇る**、国内最大手のメーカーです。

国内でのシェアは24%で、第2位につけています。

世界的にも高い市場占有率を持ち、グローバル展開において強い存在感を示しています。

- 現在、福田工場近隣に排気系部品の新工場を建設予定です。
2027年5月竣工予定

〔新工場〕

- ・ 3階建て、敷地面積 約2万9千平方メートル、投資額 約7億1千万円（土地取得代含む）
- ・ 「技能伝承の地」と位置付け、排気管やエキゾーストマニホールドなどを一貫生産
- ・ 複数のモデルに対応できる汎用設備やコンパクトなライン、無人搬送車（AGV）などを導入予定



企業のみよし市内への本社移転



【株式会社 三五の会社概要】

沿革	<p>1928年6月 恒川鉄工所 創業、プレス加工 開始</p> <p>1950年6月 株式会社三五 設立</p> <p>1967年8月 三好工場 新設</p> <p>1973年8月 福田工場 新設</p> <p>1990年5月 八和田山工場 新設</p> <p>1994年8月 八和田山工場に技術本館 完成</p> <p>2002年8月 三好第3工場 新設</p> <p>2018年6月 創業90周年</p> <p>2023年5月 福田工場にプレス棟 完成</p> <p>2025年9月 みよし市に本社を移転</p> <p>2027年5月竣工予定 福田工場近隣に排気系部品の新工場を建設予定</p>
従業員数	連結8,262人、単独2,907人（2025年3月現在、非正規社員含む）
主要製品	マフラー、ボディ部品、建設用配管等
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・「Pure AIR & More.」を掲げ、ものづくりを通じて、地球環境と人を大切にする経営に取り組んでいる。 ・世界8か国10拠点、国内7拠点で生産を行っている。 ・地域社会や働く環境に心を配り「人を大切にする企業グループ」を目指している。 ・市民や従業員に対する子育て支援の取り組みを積極的に進めている企業として、本市が育エールカンパニーとして認定している。 ・社会貢献活動として、特定外来生物オオキンケイギク駆除活動をみよし市と協働で実施している。

令和7(2025)年9月 記者会見



MIYOSHI CITY
みよし市

